

宮城県林業普及活動情報

2022. 6月号 No. 169

もくじ

各地の林業普及活動情報

P 2 ~ 12

- 市町村森林経営管理サポートセンターと連携した市町の支援 (大河原地方振興事務所)
- みんなの森林づくりプロジェクト推進事業への活動支援 (大河原地方振興事務所)
- 林業教室実地研修の実施 (大河原地方振興事務所)
- 宮城県南部の林業・林業種苗の視察研修会開催支援 (大河原地方振興事務所)
- 仙南の森を見る会の開催 (大河原地方振興事務所)
- セヶ宿町内における早生樹の試験地視察 (大河原地方振興事務所)
- 「みんなの森林づくりプロジェクト推進事業」の活動団体への支援 (仙台地方振興事務所)
- 松くい虫被害の拡大防止に向けた地上散布及び空中散布(特別防除)の実施 (仙台地方振興事務所)
- 学校林活用方針の検討 (仙台地方振興事務所)
- 大崎市民の森林づくり事業支援 (北部地方振興事務所)
- 大崎市との情報交換・情報共有等 (北部地方振興事務所)
- 林業研究会への支援 (北部地方振興事務所)
- 苔玉づくりの指導 (北部地方振興事務所 栗原地域事務所)
- 文字苔っこの会総会 (北部地方振興事務所 栗原地域事務所)
- 林業教室実地研修の実施 (北部地方振興事務所 栗原地域事務所)
- 提案型植栽の実施 (北部地方振興事務所 栗原地域事務所)
- 森林づくり団体への活動支援 (東部地方振興事務所)
- 松林防除事業の取組 (東部地方振興事務所)
- 女川町森林整備推進委員会の開催支援 (東部地方振興事務所)
- 生立木除去事業に係る意見交換会 (東部地方振興事務所 登米地域事務所)
- 南三陸森林管理協議会総会の開催 (気仙沼地方振興事務所)
- 森林経営管理制度に関する打合せ (気仙沼地方振興事務所)
- 令和4年度林業教室の選択講座Ⅰ (林業技術総合センター)
- みやぎ森林・林業未来創造カレッジ 『スマート林業・森林調査講座Ⅱ』及び林業・木材産業デジタル人材確保・育成事業『森林・林業デジタルリテラシー向上研修』の開催 (林業技術総合センター)
- 令和4年度林業普及指導員育成研修 (林業技術総合センター)
- 令和4年度林業教室の選択講座Ⅱ (林業技術総合センター)

市町村森林経営管理サポートセンター と連携した市町の支援

大河原地方振興事務所

【1日(水), 6日(月)】

市町村森林経営管理サポートセンターによる市町巡回指導に同行し、森林経営管理制度・森林環境譲与税の使途事業に係る打合せを行い、各市町の昨年度の実績及び今年度の予定や進捗状況のほか、課題等を聞き取り、助言・意見交換を実施しました。各市町において、方針や進捗状況、課題等も異なっていますが、慢性的な人員不足により、実施体制に不安を抱えていること、事前把握のためのアンケートや意向調査の取組は進んでいる一方で、集積計画の策定に向けた進め方に苦慮しているという状況もあることから、引き続き、市町間での情報共有の場の提供や、継続的な個別支援を行っていきます。



【打合せの様子】

みんなの森林づくりプロジェクト推進 事業への活動支援

大河原地方振興事務所

【6日(月), 14日(火)】

今年度事業を実施している3団体に対し、円滑な事業の実施に向け、具体的な施業方法等について現地で指導・助言を行ったところ、作業手順等の見直しを行うなど、安全な作業実施について理解を得ることが出来ました。

次年度の活動も計画されている団体が多いため、引き続き、指導・助言を行っていきます。



【現地調査での助言の様子】

林業教室実地研修の実施

大河原地方振興事務所

【9日(木)】

当管内の林業教室受講生を対象に、事務所主催の実地研修を行いました。

測量の基礎知識について講義したあと、コンパスで測量し、測量データにより製図及び求積を行ったことで、測量の基本知識を身につけていただくことができ、林業への関心がより深まったように感じられました。

今後も、地域の指導的な人材を育成するため、林業教室受講生に対し、引き続き情報提供や技術の習得を支援していきます。



【実地研修の様子】

宮城県南部の林業・林業種苗の視察研修会開催支援

大河原地方振興事務所

【11日(土)】

首都圏の異業種の方々が、宮城県の林業に関する視察のため当管内を訪問したいと相談があり、「仙南フォレストクラブ」に協力いただき、活動支援を行いました。

当日は、旅行会社の広報担当や、会社経営をしている異業種の方7人が参加し、植栽現場と種苗生産現場の視察や森林整備作業体験の他、意見交換を行いました。

終了後のアンケートでは、「林業に対する印象が変わった。」「林業に関わっている人たちの努力で美しい日本の山が守られていることに感謝する気持ちと、それが守れなくなりつつある現実にも目を向ける機会となった。」など、様々な意見が聞かれ、林業への関心を深めていただくことができたようです。

秋以降、第2回目の研修会が計画されていることから、引き続き、関係機関と連携しながら、支援を行います。



【植栽現場視察の様子】

仙南の森を見る会の開催

大河原地方振興事務所

【22日(水)】

古河林業(株)七ヶ宿林業所に協力いただき、みんなの森林づくりプロジェクト推進事業活用団体を対象にした、「仙南の森を見る会」を開催しました。

当管内では最近、自伐型林業を実践する団体が増加し、長伐期施業に関心のある方が多くいることから開催したもので、6団体8人の申し込みがありました。

古河林業(株)七ヶ宿林業所長に案内していただき、事前質問について説明しながら森林を散策したことで、各団体の今後の活動への意欲が深まったように感じられます。

今後も、地域の森林づくりに関わる団体の人材育成及び活動支援を行います。



【森林内での意見交換の様子】

七ヶ宿町内における早生樹の試験地視察

大河原地方振興事務所

【29日(水)】

木質バイオマス生産施設においては、安定した原木調達が課題となっていることから、七ヶ宿町でバイオマス利用に取り組む事業者等を対象に、七ヶ宿町内の国有林で実施している早生樹植栽試験地視察を行いました。

低コストで森林造成し、早期に木材資源として供給できる早生樹の可能性について視察を行った結果、早生樹を植栽することで短サイクル施業による収益性の確保等が期待出来ることについての理解を深められました。

引き続き関係機関と連携して、対象地の気候条件に適した早生樹種の選定や施業方法等の検証を行っていきます。



【早生樹計測の様子】

「みんなの森林づくりプロジェクト推進事業」の活動団体への支援

仙台地方振興事務所

【20日(月), 21日(火), 24日(金), 28日(火)】

仙台管内では「みんなの森林づくりプロジェクト推進事業」により森林整備等の活動を実施している団体が12団体あり、事業等の適切な実施を図るため、地域協議会と連携し、各団体に対し現地での活動支援を実施しています。今回は、そのうち仙台市、亘理町、大和町、大衡村の4団体について、現地での活動状況の確認や実施状況報告に必要な書類の整理など事業実施に当たっての留意事項について指導を行いました。

今後も地域協議会と連携しながら、活動団体への現地指導を行い、各団体の森林づくり活動の円滑な実施を支援していきます。



【刈払活動により育ったクロマツの稚樹】

松くい虫被害の拡大防止に向けた地上散布及び空中散布(特別防除)の実施

仙台地方振興事務所

【地上散布: 9日(木)~11日(土)】

【空中散布: 17日(金)】

特別名勝松島地域や県所管の重要な松林において、松くい虫被害の拡大を防止するため、薬剤の地上散布及びヘリコプターによる空中散布(特別防除)を実施しました。

地上散布に当たっては、町の広報等を用い周辺住民に周知するとともに空中散布では、ヘリコプターと送電線との接触事故を防止す



【スパウダーによる薬剤散布】

るため、東北電力とパイロットで安全チェックを行わせるなど安全確保に努めました。

仙台管内では地上散布及び空中散布を合わせて約133haの松林で薬剤散布を実施しており、今後も特別名勝松島など重要な松林の保全に努めます。



【ヘリコプターによる薬剤散布】

学校林活用方針の検討

仙台地方振興事務所

【20日(月)】

仙台市内の高校から、学校敷地に隣接する学校林を自然環境教育のフィールドとして活用したいとの相談が寄せられました。現地調査を行ったところ、学校林はヒノキ林のほか、アカマツや広葉樹が多く生育していました。

高校では混交林を目指しながら自然環境フィールドとして活用を図っていききたいとの意向でしたので、資源量の把握を行いながら施業方法について支援を進めます。



【学校林内の調査】

大崎市民の森林づくり事業支援

北部地方振興事務所

【12日(日)】

平成20年に行われた、鳴子ダム管理50年の森植樹事業からスタートした「大崎市民の森づくり事業」に対し、必要な資材(クワ)の貸出を行うとともに、植樹をしました。

当日は、大崎市長の開会あいさつの後、オオヤマザクラ500本を参加者約140名で植えました。

本事業は継続して、来年度以降も隣接区域へ植樹予定であることから、今後も必要な支援を行います。



【植樹後の記念撮影】

大崎市との情報交換・情報共有等

北部地方振興事務所

【24日(金)】

大崎市と事務所で、過年度から課題となっている事案や今後の事業展開等、新たに取り組む必要のある事項等について、お互いの情報を持ち寄り共有しました。

今回は、「野生きのこの出荷制限解除関係」、「森林経営管理制度」、「バイオマス関係」、「伝統こけしの材料調達関係」の4点を主な項目として打合せを行い、必要な情報共有を図ることができました。

今後、共有した内容を具体の取組に繋げるよう、それぞれ活動し、必要に応じて再度打合せすることとなりました。



【打合せの様子】

林業研究会への支援

北部地方振興事務所

【24日(金)】

ここ2年、新型コロナウイルス感染症の影響により書面開催となっていた、鳴子林業研究会連絡協議会総会が対面で行われました。

総会では提出議案全て承認され、久しぶりの対面開催を皆で喜びました。また、昨年度(R3)、11月に知事から森林づくり表彰を受けた事をあらためて祝いました。

表彰を励みにし、今後も積極的の活動する事が確認され、事務所は引き続き支援していく事を約束しました。



【総会の様子(来賓あいさつ)】

苔玉づくりの指導

北部地方振興事務所 栗原地域事務所

【1日(水)】

これまで苔玉講習会の講師依頼があった場合は林業振興部職員が対応してきましたが、地域の人材活用による地域振興を図るため、苔玉作製に関心の高かった「こもれびの森・森林科学館」のスタッフに講師受諾を打診したところ快諾いただいたことから、講師養成のための苔玉づくりを指導しました。

森林科学館としては7月に3件の講師依頼を受けているほか、独自のクラフトワークのひとつにも苔玉講習会を設定しており、栗原地域への定着が期待されるようです。

そのほか、林業研究会として活動している「めぐみのもり栗原」の女性スタッフにも苔玉の講習会講師を打診するなど、地域の人材を活用した地域振興を進めていくこととして



【一連の作製工程を確認】

います。

文字苔っこの会総会

北部地方振興事務所 栗原地域事務所

【5日(日)】

栗原市文字地区は藍染で有名ですが、苔で域活性化を図っている標記団体の総会が開催され、当事務所からも出席し、日頃の熱心な苔栽培への取組について感謝を申し上げました。

当日は会員15名のうち10名の出席があり、地域おこし協力隊2名の参加もありました。

総会では、今年度の活動計画などが協議、承認され、当所としても引き続き活動支援を行っていきます。



【総会の様子】

林業教室実地研修の実施

北部地方振興事務所 栗原地域事務所

【8日(水), 22日(水)】

令和4年度林業教室の実地研修2日目と3日目の講義を行いました。受講生は、山形県立農林大学校を卒業し、森林組合に今年度採用となったので、「行政事務のすすめ方」を講義することが適切であると判断し、2日目の講義は「森林育成事業等の概要／補助金システム操作演習」をテーマに公共・非公共事業の補助体系・採択要件・申請手続・申請期限等について講義しました。また、持参いただいたパソコンで森林整備補助金システムを用いた補助金交付申請書作製等の演習を行いました。

3日目は「伐採届等の許認可行政事務」をテーマに森林法10条・15条・34条に係る各種許認可の根拠・様式・提出期日について講義をし、伐採等の終了後は、10条関係では状況報告、34条関係では終了届と手続きが異なる点について特に理解を得るよう心がけました。

今回で本年度の実地研修は終了となりますが、今後、必要に応じテーマをしぼってスポット的な講習会等を開催します。



【パソコンを使い補助金申請書の作成演習】

提案型植栽の実施

北部地方振興事務所 栗原地域事務所

【10日(金), 23日(木)】

梅雨時期前の植栽にあたり、スギコンテナ苗の材料検査を行うとともに、植付方法について事業体担当者と打合せを行いました。

1,500本/ha植えと2,500本/ha植えで、植栽間隔に違いが生じるため、竹竿を使用して位置出し、植穴掘付、植栽の連続作業を一例ずつ実施しました。

範囲の境目から1m離れを1列目とし、ポールを設置してそれぞれの間隔を確認しました。

今後は、下草の繁茂状況と種類調査について7月中旬と8月中旬に行います。



【植栽前の打合せ】



【植付状況】

←2,500本植 【植栽間隔の確認】 1,500本植→

森林づくり団体への活動支援

東部地方振興事務所

【2日(木)ほか】

みんなの森林づくりプロジェクト推進事業活動団体を訪問し、事業の留意点などを説明するとともに、現地状況や取組内容を確認しました（今年度管内では5団体が実施）。

今回の訪問先では、竹林を手入れし、竹炭やたけのこ生産を目指す予定であり、当方からは特にモニタリング箇所の設定や作業記録の適正な管理をお願いするとともに、実際の活動では、単独作業などは避け、安全を最優先とするようお願いしました。



【モニタリング地点の設定状況】

松林防除事業の取組

東部地方振興事務所

【13日(月)～15日(水)】

管内沿岸部及び離島の松林で実施している松くい虫防除（特別防除：空中散布面積合計294ha）の円滑な推進のため、関係3市町及び作業受託者と連携し、事前調整や確認作業を行いました。

散布当日（14日：東松島市及び女川町、15日：石巻市）は、いずれも早朝から天候に恵まれ、予定どおりにヘリコプターによる薬剤散布作業を終えることができました。また、地上及び海面での環境モニタリングは環境への影響が基準値内であり、適正な防除とすることができました。



【空中散布の状況（田代島）】

女川町森林整備推進委員会の開催支援

東部地方振興事務所

【29日(水)】

女川町内森林での経営管理を推進するため、第1回目の「女川町森林整備推進委員会」が開催されました。当所からは林業振興部長が委員として出席するとともに、当方から森林経営管理制度の概要や創設の背景について説明しました。

委員会では、町の令和4年度取組計画及び森林環境譲与税充当内容（防鹿柵の設置など）について町からの説明があり、委員からは今後の推進方針が承認されたところです。



【町長からの委員委嘱状況】

生立木除去事業に係る意見交換会

東部地方振興事務所 登米地域事務所

【8日(水)】

松くい虫の被害拡大防止を目的として行う松の生立木除去事業の実施に関して、特に留意すべき点について関係者で再確認し情報共有するため、事業を実施する事業者及び登米市を交え、事業予定地（現地）で意見交換会を開催しました。

意見交換会では、県から「森林病虫害等防除（松くい虫及びナラ枯れ）事業実施に係る留意点について」に基づき、適切な伐採時期を守ることや、なるべくマツノマダラカミキリの産卵対象となり得る材を現地に残さないこと等について周知し情報共有しました。

また、事業効果を高めることを念頭に、生立木除去を進めるべき事業地選定の考え方について登米市を指導し理解を得ました。



【生立木除去の目的について活発に意見交換】

南三陸森林管理協議会総会の開催

気仙沼地方振興事務所

【1日(水)】

令和4年度の総会が、南三陸森林組合で開催されました。

令和3年度の事業報告として、各種補助事業の活用及び仙台闊歩などの各種メディアにおける積極的なFSC普及推進のほか、海外を視野に入れた展望などに関する報告がありました。

今年度は、補助事業により、協議会のWeb環境を整備し森林認証普及の円滑化を図るため、ホームページを整備することとしており、FSC認証材を活用した新製品の開発など、更なる普及推進を含め、同協議会の活動を支援していきます。



【協議会総会の様子】

森林経営管理制度に関する打合せ

気仙沼地方振興事務所

【16日(木)】

気仙沼市が主催し、森林組合、地域林政アドバイザー、市町村森林経営管理サポートセンター、当事務所を参集して開催されている標記制度の定例打合会が開催され、月立北部地区における市町村森林経営管理事業実施及び集約化による森林経営計画策定による森林整備を目指すこととなりました。また、旧本吉町馬籠上沢地区の集積計画作成についても取組むこととされた。

今後は、旧本吉町分については個別打合会を実施し、最終的な事業実施者の把握を進めるとともに、集積計画作成に取組むことになったため、引き続き各関係機関と連携して制度の推進に向けた支援を行っていきます。



【定例会による事業打合わせの様子】

令和4年度林業教室の選択講座Ⅰ

林業技術総合センター

【20日(月)】

林業教室の選択講座「きのこ等生産技術」を開催しました。屋内研修では特用林産物の統計等の情報提供を行うとともに、当所の研究員からきのこの生態・栽培方法等の基礎知識及び最近の研究事例の講義を行い、その後、現地研修として、きのこの原木栽培生産者と菌床栽培施設を訪問し、それぞれの施設見学と栽培方法等の説明を受けました。

研修を終えた受講者からは、「きのこの栽培方法や現状について知見が広がった」「きのこの知識がなかったが、講義と現地で多くのことを知ることができた」などの感想が寄せられました。



【きのこの原木栽培ほだ場で説明を受ける】

みやぎ森林・林業未来創造カレッジ 『スマート林業・森林調査講座Ⅱ』及び 林業・木材産業デジタル人材確保・ 育成事業『森林・林業デジタルリテラシー 向上研修』の開催

林業技術総合センター

【27(月)】

林業技術総合センター（大衡村）にて、令和4年度みやぎ森林・林業未来創造カレッジ「スマート林業・森林調査講座Ⅱ」第2回及び令和4年度林業・木材産業デジタル人材確保・育成事業「森林・林業デジタルリテラシー向上研修」第1回を合同実施し、リアル参



【オンライン講義】

加9名、オンライン参加6名の計15名が参加しました。

株式会社日本総合研究所岩崎上席主任研究員が「本格的なデジタル社会に移行するためのデジタルリテラシーとは」と題してオンライン講義を実施するとともに、当所職員が林野庁や宮城県の取組について情報提供しました。今後も研修生の支援・普及指導に努めていくこととします。

令和4年度林業普及指導員育成研修

林業技術総合センター

【29日(水)】

林業普及指導員から2名の研修生を得て「林業白書、森林法、森林・林業基本法及び林業普及指導事業運営方針」の変遷について学び、これからの林業の推進方策について検討を行いました。

7月4日(月)には、3名の研修生を得て、知識が正しく身につくよう、上記の課題について検討するとともに「森林・林業基本計画」の前計画との相違点について学びました。

今後も林業普及指導員の資質の向上に努めます。



【講義の様様】

令和4年度林業教室の選択講座Ⅱ

林業技術総合センター

【30日(木)】

9名の受講者を得て、新型コロナウイルス対策に配慮しつつ、林業教室の選択講座「刈払機」を開催しました。

講義では、「安全な刈払機作業のポイント」に沿い、振動障害、刈刃（丸のこ刃・笹刈刃・チップソー）の研ぎ方、あさりの付け方、刈払機の点検・整備、刈り払い時の基本動作と安全対策について学科と実技を併せて行いました。

今後の林業教室においても、実践に役立つ講義に努めます。



【刈払機の点検整備状況】